

182
2
67

172

中野豐記編輯
小學書牘文例
上
中澤中編輯

B 29

3 4 14



大槻修二校閱
中野豐記編輯
中澤中編輯

卷之上

小學書牘文例

明治十六年
版權免許

精華堂發兌

小學書讀文例卷之上目錄



- ① 自園の物品を贈る文
- ② 手製の物品を贈る文
- ③ 到来物を配分する文
- ④ 物品を贈られたるを謝する文
- ⑤ 用事小人を招く文
- ⑥ 物品を借る文
- ⑦ 頼むたる事を借促する文
- ⑧ 開店を披露する文
- ⑨ 物品の有無を問合する文
- ⑩ 貸たる物品を借促する文
- ⑪ 見物を催する文
- ⑫ 同行を約する文
- ⑬ 期日を問合する文
- ⑭ 期日を問合されたるに答する文

小學書讀文例

一

- ⑤ 物品を注文したる文
- ⑥ 人より進したる物品を返す文
- ⑦ 出産を告ぐる文
- ⑧ 枕せしきたる物品を届ぐる文
- ⑨ 同行を頼む文
- ⑩ 物品の代價を問合ふ文
- ⑪ 祓物を取りに遣はす文
- ⑫ 移宅を告ぐる文
- ⑬ 約束を促されたる小答ふ文
- ⑭ 頼中れし物品を送る文
- ⑮ 招うれて後ち遣はす文
- ⑯ 醫師を頼む文
- ⑰ 頼み置たる子を返る文
- ⑱ 開會を催はす文
- ⑲ 荷物の延着を促はす文
- ⑳ 至急人を招く文

- ㉑ 祭禮小人を招く文
- ㉒ 約束を促はす文
- ㉓ 事を問合はす文
- ㉔ 約束を断る文
- ㉕ 銭別を贈る文
- ㉖ 期りを告ぐる文
- ㉗ 物品のお悔を問合はす文
- ㉘ 荷物の延着を促されたる小答ふ文
- ㉙ 年忌小人を招く文
- ㉚ 疾病を告ぐる文
- ㉛ 同行を頼まれたる小答ふ文
- ㉜ 起居を問ふ文
- ㉝ 見本を送る文
- ㉞ 起居を問ふ文
- ㉟ 見物に人を誘ふ文
- ㊱ 忘る物を届ぐる文
- ㊲ 事を頼む文

小學書牘文例卷之上目錄終

小學書牘文例卷之上

第一

庭ありて梅は程さ起そめしる。
一枝は目ふかけゆし。

第二

手作りの風。至て不出來し。

とも古子息様へ進上仕度い。

第三

上方より新茶到来仕いる等
少なうら。古配分中りい。

第四

美るなる古茶。古贈り。社下。

難む古礼中りい。

第五

古吐中。度儀。古座い。付今
夕古出。社下。度い。

第六

毎度中。上。魚い。とも。火鉢三個。

何卒存借形度也。

第七

過日形置也。入校手續至急
應宜調法下度也。

第八

今般書籍店。右并志也。百。

何卒此具以負於下度也。

第九

此店小。小學習字。手本有
之也。一寸。右個中。

第十

過日。此用立。置也。書籍。此後。

去みふお成はりし。夜返却
社下度也。

第十一

法廷之天筆。公園之
梅。次第。芽に咲そめはよ。
一日。夜同遊仕度也。

第十二

夜催しの梅見。何日の由。社仕
下。善支も。無くは。留。余。後。よ
り。夜同遊。仕度也。

第十三

過日。夜話。あり。之。夜。上。京。也。

何日法出立。お集り。て。手
度。

第十四

上京之儀。追々延引。お集
り。て。法出立。と。お集り。
て。返り。と。お集り。

第十五

別紙寸法書。之。通。給。一。枚。
法。立。新。下。度。及。物。お集り。て。
順。お集り。と。

第十六

見本として。法出立。と。お集り。

幸。私儀も不用ある。古は
支無といひ。古同道お教中度い。

第二十

小学書牘文例一部の代
價何程といふ。古手教古
知らせ新下度い。

第二十一

法以古祀ひ中置い綿入古仕
立お集居りい。法者古後
し新下度い。

第二十二

私儀者合ふより。吐る。何町

何審地。轉電致。一。以。百。
此。既。古。通。知。中。上。置。不。

第二十三

古。約。束。仕。不。是。見。日。限。古。打。合。
之。受。何。不。幸。不。果。解。不。也。在。
官。年。後。一。時。以。有。古。同。伴。可。仕。不。

第二十四

豫。不。古。依。教。在。成。不。小。學。書。
讀。文。例。出。來。不。付。差。不。官。
古。落。手。法。下。度。不。

第二十五

古。日。古。種。不。古。馳。走。不。五。年。難。

有。古。礼。中。上。也。此。果。珠。ら。り。から
古。目。小。か。け。中。也。也。
古。交。納。也。也。

第二十六

小。児。事。今。朝。より。腹。痛。を。核
子。よ。て。難。儀。仕。居。也。也。何。卒。

至。急。也。也。来。於。也。也。

第二十七

桑。苗。也。周。旋。也。也。置。也。也。外。方
より。子。小。也。也。之。也。也。也。也。
也。也。也。也。

第二十八

追。日長。小。在。來。以。付。退。校。
後。より。復。習。會。お。始。め。中。度。
如。何。不。在。座。の。よ。考。え。を。お。伺。い。

第二十九

直。頼。み。中。置。い。荷。物。今。不。
到。若。不。致。甚。々。差。支。中。の。旨。

至。急。直。也。一。就。下。度。い。

第三十

南。之。北。業。お。寄。り。文。會。お。始。め。
い。旨。直。深。彫。ふ。い。い。只。今。よ。里。
直。來。臨。之。程。在。待。上。い。

第三十一

來ル十五。村社祭體小付。
別所何子も。喜直度山(と)も。
古子様う。古回道。る。年
前十時。法より。古出。下。度。山。

第三十二

豫る古約束。遊山。之。言。早。

好き時。答と。お。氣。中。の。言。古。
若。支。心。無。古。度。山。の。後。白。
以。古。回。行。仕。度。山。

第三十三

先。白。古。教。の。雇。人。者。如。何。又。
古。度。山。の。古。僧。促。古。言。教。山。

つと小。不自由之儘。一寸お
伺い。

第三十四

本月十六日。叡途まで。上京
仕。彼地。古用も。あつたり。
古きを。通なく。古戸。少く。可法

下。

第三十六

明日。涼。古上。京のよ。古門出。
古祝。中。古。古。錢。あ。古。古。古。
砂糖。を。曲。古。古。古。古。古。古。古。
糸。古。古。古。古。

第三十五

古預り申置候。此は荷物便
船之都合ふて甚々延引申
律無きといゆ。ゆゑいかならば
善立つての申す。

第三十七

和永塩上等を儀を何程
位ふらば。控根ふより少く
買入度い。百代價。至急に
古報知。申下度い。

第三十八

祖父儀。先以より不候ふて

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

お臥居の公も。退るお重りの。
直悪きふ付一寸中知せ
中よ

第三十九

来れ廿日亡祖父三回忌よ。
佛子お言みゆる。年若の十

時江より。古く来。新下度い。

第四十

拙を。追の上京。う致さ度。
貴君よ。も古用。みさく。い趣。
謀よ。幸さ。子。友。何。存。在。
同行仕度い。

第四十一

明日。博。後。會。古。同。傳。可。仕。
梳。古。約。束。致。一。置。小。受。無。授。
用。子。出。來。小。官。法。於。古。斷。り。
中。上。小。

第四十二

縮。緬。細。等。色。と。美。若。荷。致。一。
小。官。見。本。と。して。古。交。世。子。
反。入。古。後。小。官。古。後。文。部。下。
度。小。

第四十三

久。古。古。無。音。小。古。道。小。受。階。と。

様如何。何時作。古。凌。新。集。は。古。極。子。お。何。中。は。比。粗。末。重。之。内。追。至。仕。は。

第四十四

角力大八のよ。依る。何。見。物。仕。は。積。り。不。古。産。は。思。召。

も。い。い。な。あ。十。何。より。古。同。伴。仕。度。は。

第四十五

先。刻。を。態。と。古。尋。は。下。は。度。解。り。粗。末。中。上。恥。入。中。は。其。初。古。失。念。之。古。扇。子。古。扇。中。は。

百古の海手新下度い。

第四十六

此程雇人の内不快ふて。俄小
引たりい者あり。困居りい。若
し。古心あり。古雇い。古古話
形度い。

長澤走筆



小學書牘文例卷之上終

